

2013年度

熊谷リリーズ☆少女サッカークラブ 審判員心得

はじめに

審判員は大変重要な役割を担っています。子どもたち（選手）、指導者だけではサッカーの試合を行うことはできません。大会役員と審判員がいて初めてサッカーの試合が成り立ち、サッカーを楽しむことができます。ただ、ほとんどの審判員がコーチ兼任であったり、保護者のボランティアで担われているのが現実です。審判は試合をうまくこなしても褒められることは少なく、ミスをすると叱られることもある大変な仕事です。リリーズはそんな帯同審判員の支えによってチームがスムーズに運営されているのです。

本書は、そんなリリーズを支えてくれる大切な審判員に向けての応援を込めての心得書とします。

下記16項目はリリーズ簡易版です。

- ・ コート作りができること。すべての距離が頭に入っている。
ラインが10cmの時にライン分を含めてきっちり引くこと。
- ・ 開始の並び方、入り方のパターンを確認しておく。コイントスもいつ行うのか
- ・ 主審では対角線法を意識する。コーナーキックキックの時も必ず、副審と挟んで見える位置
- ・ キックオフ時も即シュートして入る場合もあるので、副審とゴールが見える位置取りをする
- ・ 必ず副審を見て、同じか確認してからジャッジする
- ・ 得点したら、得点者の番号と時間をメモ
- ・ イエロー、レッドはカードにメモ
- ・ ハーフタイム時に得点の確認を他の審判と確認する
- ・ 試合終了時には得点結果を告げない
- ・ 試合終了後、他の審判と得点結果を再確認。
また、コートからは両チームがコート外に出たことを確認してから出る
- ・ 審判報告書を作成して提出する。各審判にも確認する
- ・ 副審の時、開始前にゴールネット、コーナーフラッグに異常がないことをチェックする
- ・ 主審に見えるようにフラッグを持つ。
- ・ 主審と確認しながらジャッジし、旗を上げる
- ・ 一度オフサイドの旗を挙げたら、主審が気づいて指示するまで降ろさない、動かない
- ・ PKは事前に人数を確認する。副審はゴールラインを割ったか判断できる位置、もう一人はセンターサークル主審はやはり副審と挟んだ位置。背番号で選手を確認し、ホイッスルで

以下、2つの章はリリーズ詳細版です。

1章 熊谷リリーズ審判員の守るべき原則

1. ルールを理解すること
2. 正しいこと
3. 公平であること
4. コミュニケーションを取ること
5. 迷わないこと（自信を持って）
6. 笑顔を心がけること
7. 向上心を持つこと
8. 子どもたちを育成する気持ちを持つこと
9. 助言を求め、素直に聞く姿勢を持つこと
10. プレイヤーズファーストであること

2章 心がけること

ルール及び審判技術の詳細はルールブック、各地区審判部の指導に譲ることとし、心がけるポイントだけを紹介いたします。

2.1 試合前の準備

- ・ 試合前までに大会要綱を確認しておこう 何人制、試合時間、交代人数、PK戦人数等々
- ・ コートを作ることができること→ルール理解にも繋がります
- ・ しっかりウォーミングアップをしましょう

2.2 試合開始前

- ・コートをチェックをしましょう
正しい距離でラインが引かれていること
ゴールの設置が正しいか危険はないか、ゴールネットが正しくはられているか、フラッグに問題ないか
- ・メンバー表チェック
正しく登録された選手であるか確認
- ・選手用具チェック
すねあて、スパイク（危険がないか）、髪とめ（ぶつかって危険でない）、指のつめ、ネックレス、指輪など
- ・試合ボールの確認 空気圧が範囲内に入っていること
- ・開始前挨拶（セレモニーの方法は大会毎に違うので確認）
- ・審判員は中立な立場である事を常時意識しよう
- ・コイントス コートを選択します
- ・キックオフ
各チームの選手の準備ができていることを確認し、各審判とそれぞれ準備OKかを確認します。
キックオフゴールが入ったことを想定し、キックオフの選手を対角線上の副審と挟むような位置でキックオフの笛を吹きます

2.3 試合中

- ・主審では対角線法を意識しましょう。コーナーキックの時も必ず、副審と挟んで見える位置です
- ・笛、合図ははっきりとしましょう
躊躇することなく笛を吹きましょう
- ・必ず副審とアイコンタクトして間違いがないことを確認して合図をしましょう
- ・副審はあせらずしっかりタッチラインを出たのを確認して、主審と確認を取りながらフラッグをあげましょう
- ・フラッグの持ち替えは上げてからではなく、あげる前に持ち替えてあげましょう
- ・フラッグは主審の見える位置を意識してタッチライン際を移動しましょう
- ・副審は目の前で起きている反則行為を見つけたら迷わずフラッグをあげ主審に知らせましょう
- ・副審は一度オフサイドの旗を挙げたら、主審が気がついて指示するまで降ろさない、動かないようにします
- ・得点したら、得点者の番号と時間をメモします
- ・イエロー、レッドはカードにメモします
- ・主審は時計を二つ、できればカードセットも2つあると良いです

2.4 飲水タイム

(夏場の暑い日に飲水タイムを設ける場合があります)

- ・飲水タイムが設けられた試合の場合、選手がラインの外に出ないようにすること、指導者はこの時コーチングをしてはいけません

2.5 選手交代

- ・4審が交替選手のチェック、用具チェックを終えた後、プレイが切れた時に交代します

2.6 ハーフタイム

- ・ハーフタイム時に得点の確認を他の審判と確認しましょう

2.7 PK戦

- ・PKは事前に人数を大会綱領で確認しておきましょう
- ・PKは副審はゴールラインを割ったか判断できる位置、もう一人はセンターサークル
主審はやはり副審と挟んだ位置。背番号で選手を確認し、ホイッスルでスタートです

2.8 試合終了後

- ・試合終了時の挨拶時には得点結果を告げないようにします。最終的な結果は終了後、他の審判員と確認して確定しましょう
- ・両チームがコート外に出たことを確認してから出ましょう。その時までゲームは終了していませんので審判報告書を作成して提出します。他の審判員の氏名、所属、級も必要です。詳細は諸先輩とルールブックで
- ・もしもクレームが出た場合には落ち着いて話を聞き、即答を避け、内容は文書で提出してもらい処置しよう

最後に

リリーズの各コーチには早くから審判の資格を取って、試合に慣れていただく方が良いと考えます。特に埼玉の少女サッカーは非常に厳密な審判法を求められます。4級といえども高いレベルを要求されます。審判をやるためにサッカーをやっている人は多分あまりいなくて、コーチ業の兼務になります、大切な仕事ですので前向きにがんばりましょう。

上級審判員、インストラクターの方々は経験豊富で、正確、公平、技術すべてにおいて優れています。リスペクト（尊敬）し、自身の審判技術向上に助言を積極的に求めていきましょう。サッカーファミリーの一員として、すべてオープンマインドで受け止め楽しく子供達のサッカーを支え合っていきましょう。すべては子供達の将来のためと思えば、なんてことはないでしょう。プレイヤーズファーストです。

2013.10月
熊谷リリーズTOPチーム監督
招 行正：著
リリーズ編集部：監修

注意：リリーズ関係者以外の転用の場合にはご一報ください